

Claude Certified Architect – Professional

試験ガイド

バージョン1.0・発効：2026年7月・試験コード：CCAR-P・本ガイドは予告なく変更されることがあります。

1. この認定資格について

Claude Certified Architect – Professional認定資格は、AnthropicのClaudeプラットフォームを使用して、本番環境レベルのAIソリューションを設計、構築、提供できることを証明するものです。対象は、アーキテクトの役割を担う実務者です。こうした実務者は、適切なモデル、アーキテクチャ、APIパターンを選択し、プロンプトエンジニアリングとコンテキストエンジニアリングを適用し、Claudeをエンタープライズシステムに統合し、評価、セキュリティ、コンプライアンス、ガバナンスに関する考慮事項を設計に組み込みます。

本ガイドは、受験の準備をする受験者にとっての正式な参照資料です。資格の目的、対象者、試験形式とコンテンツのブループリント、採点、ポリシー、およびすべての受験者が同意する受験規則について説明します。試験を予約する前に、全文をお読みください。

2. 資格の目的と価値

Claude Certified Architect – Professional認定資格の主な目的は、本番環境でClaudeベースのソリューションを適切に設計するために必要な知識、スキル、能力について、独立した評価を提供することです。この資格を取得することで、資格保有者がClaudeを活用したシステムのライフサイクル全体を主導できること、またはそれに大きく貢献できることを、雇用主、顧客、チームに示すことができます。

この資格を取得した受験者は、次のことができると示せます。

- 現実のビジネス課題に対応するAI主導のソリューションを設計し、プロトタイプを作成する
- 特定のユースケースに適したモデル、アーキテクチャ、APIパターンを選択する
- モデルの動作を導くためのプロンプトエンジニアリングとコンテキスト戦略を実装する
- API、オーケストレーションツール、データパイプラインを使用して、Claudeを本番システムに統合する
- ソリューションの品質を確保するために、評価、モニタリング、オブザーバビリティの手法を適用する
- セキュリティ、コンプライアンス、ガバナンスに関する考慮事項をシステム設計に組み込む
- 部門横断のステークホルダーと協働し、アーキテクチャ上の決定を効果的に伝える

3. 対象者

この認定資格は、大規模言語モデル、特にClaudeを使用して、本番環境レベルのAIソリューションを設計、構築、提供する、中級から上級レベルの技術専門職を対象としています。主な対象者は、ビジネス要件と技術的実装の接点で業務を行うソリューションアーキテクト、AI/MLエンジニア、テクニカルリード、シニアソフトウェアエンジニアです。

こうした専門職は、ビジネス課題をスケーラブルなAI主導のソリューションに落とし込みます。これには、モデルの選択、プロンプトエンジニアリング、ツールとエージェントのオーケストレーション、コンテキスト管理、およびシステムの安全性、コンプライアンス、ガバナンスの確保が含まれます。多くの場合、ステークホルダーとの関係構築、顧客や社内チームへの助言、アーキテクチャ上の決定の主導にも関与し、セキュリティ、法務、経営層の観点に関する議論も担います。受験者は通常、金融サービス、医療、小売、テクノロジー、教育、政府機関などの業界で業務を行っています。

この認定資格は、初級レベルの開発者、Claudeベースのアプリケーションを時折利用するだけのユーザー、またはエンドツーエンドのAIシステムを設計した経験のない個人を対象としていません。また、純粋に非技術的な役割や、より広範なシステム設計の責任を伴わないプロンプト作成などの個別のタスクに限定された役割も対象外です。

4. 最低限の能力を備えた受験者のプロフィール

この試験は、最低限の能力を備えた受験者（MQC）を対象としています。MQCとは、エンジニアリングの考え方と、AIソリューションをデプロイした実践的な実務経験を兼ね備えた、経験豊富な実務者です。MQCは、本番環境においてClaudeを活用したAIソリューションを設計、実装、統制し、ビジネス要件をスケーラブルで安全かつ信頼性の高いアーキテクチャに落とし込みます。

MQCは、プロンプトエンジニアリングとコンテキストエンジニアリング、検索拡張生成（RAG）、API統合、オーケストレーション、評価フレームワークを含むエンドツーエンドのAIシステムを設計する能力を示し、コスト、レイテンシ、パフォーマンス、安全性、保守性に関するトレードオフを理解しています。

推奨される経験

- ソフトウェアエンジニアリングのベストプラクティス（モジュール設計、関心の分離、スケーラビリティ）の基礎
- システムアーキテクチャまたはプラットフォームエンジニアリングにおける3年以上の経験
- 本番環境でのClaudeまたは同等のLLMベースのシステムに関する6か月以上の実務経験
- ディスカバリーからデプロイ、運用化まで、エンドツーエンドのシステムを提供した経験

前提条件： この試験を受験するために必須となる前提条件やコースはありません。上記の経験は推奨されるものであり、必須ではありません。資格は試験の成績のみに基づいて授与されます。

5. 試験の概要

資格	Claude Certified Architect – Professional
試験コード	CCAR-P
問題数	63
出題形式	択一式および複数選択式の問題。各問題に、選択する解答の数が明記されています
制限時間	120分
実施方法	監督付き：プログラムのポリシーに従い、オンライン監督付きまたはテストセンター、あるいはその両方
合格点	100-1,000のスケールでスケールスコア720
受験料	\$175 USD
有効期間	資格が授与された日から12か月
結果の通知	合格／不合格とスケールスコア（100-1,000）。スコアレポートには分野別の正答率も記載されます

6. 試験内容の概要（ブループrint）

試験ブループrintは、測定対象となる内容分野と、試験における各分野のおおよその配点比率を定めています。配点比率は、職務タスク分析によって決定された、十分な能力での業務遂行に対する各分野の相対的な重要度を反映しています。パーセンテージは、採点対象の問題のうち各分野から出題されるおおよその割合を示します。

分野	内容分野	配点比率
1	ソリューション設計とアーキテクチャ	17%
2	Claudeモデル、プロンプト作成、コンテキストエンジニアリング	13%
3	統合	19%
4	評価、テスト、最適化	16%
5	ガバナンス、安全性、リスク管理	14%
6	ステークホルダーとのコミュニケーションとライフサイクル管理	14%
7	開発者の生産性と運用支援	7%
合計	100%	

分野別の詳細な目標

以下の各分野には、受験者が実行できることを期待されるタスクを示しています。試験問題はこれらの目標に基づいて作成されます。

分野1：ソリューション設計とアーキテクチャ（17%）

- ビジネス課題をClaudeベースのAIソリューションに落とし込む
- エンドツーエンドのアーキテクチャ（入力→処理→出力→フィードバックループ）を設計する
- 適切なアーキテクチャパターン（ワークフロー、エージェント型、拡張LLM）を選択する
- マルチエージェントシステムとオーケストレーション戦略を設計する
- 複雑な問題解決のために分解の手法を適用する
- ソリューションをビジネス価値の柱（効率性、変革、生産性、コスト、パフォーマンスSLA）に整合させる

分野2：Claudeモデル、プロンプト作成、コンテキストエンジニアリング（13%）

- トレードオフに基づいて適切なClaudeモデルを選択する
- システムプロンプト、テンプレート、ガードレールを設計する
- プロンプトエンジニアリングの手法（ゼロショット、few-shot、思考の連鎖）を適用する
- コンテキストウィンドウを最適化し、トークン使用量を管理する
- プロンプトの再利用戦略（キャッシング、モジュール型プロンプト、スキル）を実装する

分野3：統合（19%）

- ツールやエージェントの構成を、機能の肥大化の観点から評価する
- 認証と認可の要件を分析し、セキュリティ上のギャップを特定する
- 精度とレイテンシのトレードオフを評価し、構成に関する決定の根拠を示す
- オブザーバビリティの課題を分析し、大規模環境でのモニタリング戦略を選択する
- 適切なチャンキング戦略とインデックス作成戦略を備えたRAGパイプラインを設計する
- データの形状とクエリパターンに合った検索戦略を適用する
- 接続プロトコルを評価し、適切な統合メカニズム（MCP、API/CLI、エージェント間）を選択する
- 段階的ディスカバリーと一括型コンテキスト戦略を比較評価する

分野4：評価、テスト、最適化（16%）

- 評価指標（精度、レイテンシ、コスト、安全性、セキュリティ）を定義する
- 複数の方法論を組み合わせ、評価データセットとテストフレームワークを設計する
- A/Bテストと反復的な改善を実施する
- システムの問題（プロンプトの失敗、ハルシネーション、モデルの不適合）を診断する
- トークン使用量、レイテンシ、コストとパフォーマンスのトレードオフを最適化する
- ロギングツールとオブザーバビリティツールを使用してシステムのパフォーマンスをモニタリングする

分野5：ガバナンス、安全性、リスク管理（14%）

- ガードレールと安全管理策を実装する
- LLMシステムのリスク、限界、障害モードを特定する
- ヒューマン・イン・ザ・ループによる検証戦略を適用する
- 規制（GDPR、HIPAA、FedRAMPなど）へのコンプライアンスを確保する
- 倫理的なAIに関する考慮事項（バイアス、公平性、透明性）に対処する

分野6：ステークホルダーとのコミュニケーションとライフサイクル管理（14%）

- 体系的なディスカバリーと要件収集を実施する
- アーキテクチャ上の決定とトレードオフを伝える
- ステークホルダーからのフィードバックループと期待値の調整（SLAを含む）を管理する
- アーキテクチャを文書化し、実装のガイダンスを提供する
- ライフサイクルの各フェーズ（ディスカバリー、設計、引き継ぎ、モニタリング、反復）を支援する

分野7：開発者の生産性と運用支援（7%）

- チーム向けにClaudeのツールと環境（Claude Codeなど）を構成する
- AI支援ツールを使用して開発者のワークフローを改善する
- デバッグと運用上の問題解決を支援する

7. 準備の方法

必修のコースはありません。Anthropicは、特定のリソースが合格を保証するものであるとは約束しません。受験者には、実践的な経験と以下のリソースを組み合わせることをお勧めします。

- セクション6の試験ブループリントを学習し、各目標に照らして自己評価する
- Claude API、モデル、プロンプトエンジニアリング、MCP、スキルに関するAnthropicの公式ドキュメントを確認する
- RAG、評価、オブザーバビリティを含むエンドツーエンドのClaudeソリューションを1つ以上構築し、運用する
- アーキテクチャ上の意思決定（モデルの選択、統合プロトコル、セキュリティのトレードオフ）を練習する
- セクション8のサンプル問題を解き、出題スタイルに慣れる

8. サンプル問題

これらの例題は、試験の出題スタイルと認知レベルを示すものです。実際の試験の問題バンクから抜粋したものではありません。正解と解説は問題の後に記載しています。

サンプル1・分野3 — 統合

あるチームが、チケットの閲覧、返信の下書き作成、返金の実行、ユーザーアカウントの削除ができるカスタマーサポートエージェントを公開しています。サポート担当者が必要とするのは、チケットの閲覧と返信の下書き作成だけです。最小権限の原則を適用する場合、リスクを最も効果的に低減する変更はどれですか。

- A. 返金ツールと削除ツールにロギングを追加し、不正使用を後から監査できるようにする。
- B. 返金ツールと削除ツールをエージェントの構成から完全に削除する。
- C. すべてのツールを残したまま、返金と削除の前に確認プロンプトを追加する。
- D. エージェントを、指示により確実に従う、より大きなモデルに置き換える。

サンプル2・分野2 — モデル、プロンプト作成、コンテキスト

あるアプリケーションは、リクエストのたびに同じ8,000トークンのシステムプロンプトとポリシー文書を送信し、その後に短く内容の変わるユーザーメッセージを続けています。レイテンシとコストの両方が懸念事項です。両方に最も直接的に対処できる最適化はどれですか。

- A. ポリシー文書を最初の1,000トークンに切り詰める。
- B. タスクへの適合性にかかわらず、利用可能な最小のモデルに切り替える。
- C. 静的なシステムプロンプトとポリシーを動的なコンテンツの前に配置し、プロンプトキャッシングを有効にする。
- D. ポリシー文書をfew-shotの例示ブロックに移動する。

サンプル3・分野4 — 評価と最適化

あるRAGシステムが、文書の更新後に突然、確信に満ちた誤った回答を返すようになりました。レイテンシとモデルのバージョンは変わっていません。最初に調査すべき箇所として最も可能性が高いのはどれですか。

- A. モデルの重みが気づかなくうちに変更された。
- B. 検索／インデックス作成のステップが、関連性のない、または古いチャンクを返している。
- C. temperatureの設定が低すぎる。
- D. コンテキストウィンドウが縮小した。

正解と解説

サンプル1：B。最小権限とは、その役割に必要な機能を除くことを意味し、攻撃対象領域を監視または防護するのではなく、排除します。ロギング（A）と確認（C）は発見的統制または補完的統制であり、不要な権限の削除ではありません。モデルのサイズ（D）は認可の範囲とは無関係です。

サンプル2：C。安定したコンテンツを先に配置してプロンプトキャッシングを有効にすると、繰り返されるプレフィックスを再利用できるため、必要なコンテキストを捨てることなく、最初のトークンまでの時間とリクエストあたりのコストの両方を削減できます。切り詰め（A）では必要なポリシーが失われます。やみくもな小型化（B）は品質を損なうリスクがあります。few-shotへの移動（D）では、キャッシュ可能で再利用可能なプレフィックスは作られません。

サンプル3：B。モデルとレイテンシが変わらないまま、文書の更新後に確信に満ちた誤った回答が生じていることは、検索がモデルに質の低いコンテキストを渡していることを示しています。たとえば、インデックスの再作成の失敗や、埋め込みの不一致などです。他の選択肢は、文書の更新を特にきっかけとして起こるものではありません。

9. 試験の採点方法

Claude Certified Architect – Professional試験は、基準準拠型の評価です。各受験者は、他の受験者との比較ではなく、固定された到達基準に照らして測定されます。合格するには、他の受験者の一定割合を上回ることではなく、ブループリントで定義された知識とスキルを示すことが必要です。

合格基準。合格点は、正式な基準設定調査を通じて定められました。この調査では、トレーニングを受けた対象領域の専門家が、最低限の能力を備えた受験者に期待される成績の水準を判定しました。スコアは100-1,000のスケールで報告され、カットスコアは720です。

結果の通知。結果は、合格または不合格のステータスと、100から1,000までのスケールスコアで報告されます。スコアレポートには、各内容分野であなたが正解した問題の割合も記載されます。セクション別のパーセンテージは、ご自身の成績を理解するために提供されるものであり、可否の判定には使用されません。可否は総合のスケールスコアに基づいて判定されます。

10. 申し込みと予約

申し込みと予約は、Anthropic Partner AcademyとPearson VUEを通じて行います。

1. Anthropic Partner Academyで受験する試験の認定資格ページにアクセスし、試験の詳細を確認します。
2. 申し込む前に、試験ガイドをダウンロードし、「認定資格利用規約」(Certification Terms and Conditions)と「認定試験ポリシー」(Certification Exam Policy)を確認します。
3. 試験に申し込み、支払い手続きを完了します。支払い手続きの画面に表示される受験料には、ご自身のパートナーティアに適用される割引が反映されています。
4. 確認の案内に従ってPearson VUEアカウントを作成し、サインインして試験セッションを予約します。
5. 空いている日程を選び、オンライン監督付きまたはPearsonのテストセンターのいずれかを選択します。試験はPearson VUEによって実施されます。
6. 予約時刻の24時間前までは、キャンセルまたは予約変更ができます。24時間以内に行った変更では、受験料は返金されません。

11. 試験ポリシー

本人確認書類

試験当日は、有効期限内の、政府発行の有効な写真付き本人確認書類を提示する必要があります。本人確認書類の氏名は、申し込み時の氏名と完全に一致していなければなりません。申し込み時の氏名を訂正する必要がある場合は、試験を予約する前にcertifications-support@anthropic.comまでご連絡ください。

受験上の配慮

障害またはニーズを証明する書類のある受験者は、適用される法律に従い、合理的な受験上の配慮を受けられます。受験上の配慮は、試験を予約する前に申請し、Pearson VUEの承認を受ける必要があります。申請が承認されるまで、予約をしないでください。受験上の配慮はpearsonvue.com/us/en/test-takers/accommodationsで申請してください。

再受験ポリシー

合格しなかった受験者は、所定の待機期間の後に再受験できます。待機期間は不合格の回数が増えるごとに長くなり、初回のは14日、2回目の後は30日、3回目の後は90日です。同じ試験は、任意の連続する12か月の期間内に4回まで受験できます。上限は試験ごとに適用されるため、ある試験に合格しなかったことで、別の試験に申し込めなくなることはありません。受験料は受験のたびに必要です。

無断欠席と遅刻

予約した試験に現れなかった受験者、または許容される遅刻の時間枠を過ぎて到着した受験者は、受験料が返金されず、あらためて申し込む必要があります。キャンセルと予約変更の期限はセクション10に記載されています。

12. 試験当日の流れと受験規則

試験は、標準化され、安全が確保された、監督付きの環境で実施されます。オンラインで受験する場合も、Pearson VUEのテストセンターで受験する場合も、資格を保有するすべての人のために資格の信頼性を守る目的で、以下の規則が適用されます。

試験中は、次のことを守る必要があります。

- オンラインで受験する場合、セッションの間ずっと試験監督者とウェブカメラの視界内にとどまる
- 作業スペースにメモ、書籍、電話、サブモニター、その他の物品を置かない
- 試験中、他のいかなる人とも連絡や会話をしない

- 試験内容を、いかなる形式でも記録、複写、撮影、複製しない

持ち込みが禁止されている物品には、携帯電話、スマートウォッチ、ヘッドホン、学習教材、あらゆる録音・録画機器が含まれます。試験監督者が提供するメモ用紙など、持ち込みが許可される物品がある場合は、Pearson VUEが指定します。

不正行為の結果。カンニング、禁止されているリソースへのアクセスの試み、試験内容の開示があった場合、結果の無効化、資格の取り消し、今後の試験の受験禁止となることがあります。

13. 機密保持と秘密保持契約

試験が始まる前に、機密保持および秘密保持契約に同意する必要があります。同意することにより、問題、解答の選択肢、シナリオを含むすべての試験内容がAnthropicの機密情報であり専有財産であること、およびそのいかなる部分も開示、複製、配布しないことに同意したことになります。契約に同意しない場合、試験セッションは終了し、返金はありません。

14. 資格の維持と再認定

Claude Certified Architect – Professional資格は、授与された日から12か月間有効です。基盤となる技術は急速に進化するため、資格保有者が最新の知識を維持できるよう、資格には有効期間が設けられています。

期限内に更新するには、認定を受けてからの変更点を確認し、Anthropic Partner Academyで無料の監督なしのアセスメントを完了します。期限内の更新に費用はかかりません。資格が失効した場合、認定されたステータスを取り戻すには、正規の受験料で試験全体を再受験する必要があります。

試験内容が大幅に変更された場合、Anthropicは資格保有者に対し、再認定のために、更新アセスメントの完了ではなく試験全体の再受験を求めることがあります。

資格保有者には、セクション12に記載された受験規則が引き続き適用されます。

15. 受験者サポート、異議申し立て、プライバシー

サポート

申し込み時の氏名を訂正するには、certifications-support@anthropic.comまでご連絡ください。申し込み、予約、受験上の配慮、結果など、その他すべての質問については、Pearson VUEのサポート (pearsonvue.com/us/en/anthropic.html) にお問い合わせください。

異議申し立てと苦情

決定に対しては、その通知を受けた日から14日以内に異議申し立てができます。試験結果に関する懸念の場合は、試験日から14日以内です。異議申し立ては、上記のリンクからPearson VUEのサポートに提出してください。異議申し立ては、プログラムの異議申し立てポリシーに基づいて審査されます。基準設定の結果および個々の試験問題の内容は、異議申し立ての対象になりません。

プライバシー

申し込みおよび受験の際に収集される個人データは、Anthropicのプライバシーポリシー、Pearson VUEのプライバシーポリシー、および適用されるデータ保護法に従って取り扱われます。

16. 文書管理

バージョン	変更の概要	日付
1.0	初版発行	2026年7月